

オオサキワンダーミュージアム 人と大自然の青空博物館

vol.34 大崎耕土フィールドミュージアム
トレインツアーが開催されました！

世界農業遺産推進課自然共生推進担当 ☎23-2281

令和4年12月17日、臨時列車「風っこ号」で(一社)みやぎ大崎観光公社の主催による、「大崎耕土を知る・見る・食べるツアー」が開催されました。

このツアーは、臨時列車「風っこ号」が仙台駅からJR陸羽東線を経由して、鳴子温泉駅まで運行し、大崎耕土を体感するフィールドミュージアムトレインです。

9月に引き続き開催された今回は、大崎耕土にある2つの酒蔵の蔵元が乗車し、酒の試飲体験や参加者とのトークセッションなど、生産者と消費者との交流が行われ、食と旅を満喫するツアーとなりました。



▲臨時列車「風っこ号」



▲車窓を眺めながら日本酒を味わった乗客

大崎さんの食育コラム

その21

節分の話
～鬼は外！福は内！～



世界農業遺産推進課企画調整担当 ☎23-2281

節分は、「季節を分ける」という意味があつて、立春・立夏・立秋・立冬の前日は全て節分の日なんだって。行事としては、立春の前日の2月3日に豆まきをするよね。何で豆まきをするのかというと、2月上旬はまだ寒くて体調を崩しやすいから豆をまいて邪気を払い、無病息災を願うという意味が込められているんだよ。また、節分の豆まきに使われる大豆は、体を作る基

となる「タンパク質」を豊富に含んでいて「畑の肉」とも呼ばれているんだ。いろいろな食品や調味料の原料としてぼくたちの食卓を豊かにしてくれて、健康な食生活を支えてくれる大切な食べ物だよ。そして、大豆は大崎市の特産物で、宮城県内での作付面積では第一位なんだ。「鬼は外！福は内！」のかけ声で健康と幸せを呼び込もう！

市の情報を発信しています！

市では、広報紙のほかに市ウェブサイトや市公式SNS(Instagram、Twitter、Facebook)で、市政情報や観光、イベント情報など、さまざまな情報を発信しています。

いつでも、どこでも情報を知ることができ便利です。



市ウェブサイト

市ウェブサイト
観光情報



観光交流課公式Instagramでは、市の観光情報を発信しています。二次元コードから、登録をお願いします。

大崎市公式SNS
発信中です！



市公式SNS(Twitter、Facebook)では、最新情報を発信しています！二次元コードから、登録をお願いします。



Twitter

@osaki_city

Facebook



秘書広報課広報広聴担当 ☎23-5023

みんなでエコっぺ！

～やってみよう「エコ活」～

環境保全課環境保全担当 ☎23-6074

～Vol.5「カーボンニュートラルに向けて」～

カーボンニュートラル*を実現するためには、市民一人一人が温室効果ガスを減らすための努力が大切です。国のカーボンニュートラル宣言を受けて、本市も昨年11月に地域としてカーボンニュートラルを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

「みんなでエコっぺ！」では、今後皆さんでできる取り組みを紹介していきますので、できることから実践してみましよう！

*二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量を、森林などによる吸収量との差し引きで全体としてゼロとすることです。



▲大崎市ゼロカーボンシティ宣言

広報おおさき2月号 2023 No.203

Main Contents

目次

- 04 令和5年二十歳の集い
- 06 ICT保健指導(オンライン面談)を始めました
- 07 令和5年度おおさき市民健診の申し込みが始まります
- 08 健康な生活で医療費の増加を防ぎましよう
- 09 飛躍の年になることを願って 令和5年 大崎市新年のつどい
- 10 CITY TOPICS
- 11 Discover OSAKI
- 12 OSAKI Culture
- 13 オオサキプレイガイド
- くらしの情報
- 14 大崎市中心市街地地区(第2期)の事後評価原案に対する意見を募集します ほか
- 24 子育て支援情報 ほか
- 26 相談コーナー
- 27 休日救急当番医 ほか
- 第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会 優勝!!
- 28 古川学園高等学校女子バレーボール部

天地人

市長コラム

兎(うさぎ)の跳躍力でジャンプ！

穏やかに新年を迎え、仕事始め、あいさつ回り、消防団出初式、二十歳の集い、新年行事、上京、白鵬親方の断髪式等々慌ただしくお正月を走り回りました。

今年の書き初めで、市政の発展を希い(こいねがい)「跳」を揮毫(きこう)しました。

今年の干支(えと)は「癸(みずのと)卯(う)」。卯(うさぎ)は「癸(みずのと)卯(う)」。卯(うさぎ)は「福を集める」といわれ、多産で高々と飛び跳ねることから豊穰(とけ)・飛躍(とつ)の象徴(しるし)でもあります。干支にあやかり、跳躍力でジャンプしてまいりましょう。

令和5年の大崎市が「兎の上り坂」を目指す課題は、四年目を迎えるコロナとの闘いを収束し、日常を取り戻すこと。本市初の小中一貫義務教育学校・古川西小中学校開校。市役所本庁舎の開庁と東日本大震災からの復興の総仕上げ。大雨被害の抜本的な復旧と流域治水へのキックオフ。ジビエの郷づくりの業務開始。産業振興機構の設立。日本語学校開設への本格

的稼働等々。

さらに、今年には「ササニシキ」誕生六十周年です。東の横綱と称され、日本を代表する銘柄米として君臨してきた「ササニシキ」です。古川駅前には、この功績をたたえ「ササニシキ顕彰碑」が農婦の像とともに建立されており、貴重なササニシキの系統は、「ささ結」に引き継がれております。

また、今年には陸羽東線開業百周年を迎えます。「奥の細道湯けむりライン」と慕われ、走り続けて百十年、次の百年・百十年へ走り続けるために、陸羽東線利活用を推進し、継続・活性化を図ってまいりましょう。

課題と可能性を秘めて、「脱兎(だつと)の勢い」で「デジタル田園都市おおさき」を実現してまいりましょう。



大崎市長 伊藤康志